

稚 地 域 第574号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

北海道稚内市長 横 田 耕



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので、お取り計らいよろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 本市を始めとする宗谷地域は、公共交通機関や医療体制が脆弱であり、住民生活の向上、産業や経済等における地域の活性化のためには、道路の整備、特に規格の高い道路整備は不可欠といえる。
2. 全国一律の構造による道路の整備ではなく、交通量、沿線住宅数等の地域の実情を考慮した、地域住民にとって使い勝手の良い道路の整備が必要と考える。また、そうした道路の整備が最終的には建設経費の削減につながり、それにより整備が促進されると考える。
3. 規格の高い道路整備（例えば、本市で施工されている更喜岳内防雪事業など）が完了後は、地域にとって利便性の高い運用が必要であり、速度の規制緩和（例えば、60km 速度制限を 70km、80km）などを実施できるよう、国として、応援をいただきたい。
4. 現在の道路整備については、事業別で地域住民に周知され、地域住民の意識としては、こまざれに整備が進み、利便性が良くないイメージがある。宗谷地域で例えると、豊富バイパス、幌富バイパス、天塩防災事業等が供用、工事中、事業化されているが、一体的には周知されておらず、これが、中央から見ると無駄な道路と見られているような気がする。大変難しい問題とは思いますが、全体計画を地域住民に周知し、全線供用開始による効果等を積極的にアピールする必要がある。
5. 中央中心の議論の中で、規格の高い道路整備が周辺人口や交通量を基礎に考えられ、費用対効果で無駄と考えられている点を非常に危惧している。地方においては、公共交通機関が脆弱であり、自動車（バス・マイカー等）が交通手段の主流となっている。ただ、建設費の抑制等は不可欠であり、既存道路の活用等の推進が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

現 状	課 題
1. 高次医療施設への搬送時間の短縮 ○ 本市のみならず、宗谷地域の基幹病院である市立病院は、2 次医療機関であり、それ以上の高度治療を要する患者は、高次医療に指定されている病院のある「名寄市」、「旭川市」に搬送を行っている。 2. 産業の活性化 ○ 本市は、広大な土地や豊かな自然資源に恵まれ、第一次産業が基幹産業であり、「食糧基地」として多くの一次製品や加工品を全国に供給している。 3. 防災対策の強化 ○ 本市のオホーツク海沿岸地域は、海岸侵食の進行が著しく、また、近年、千島列島沖地震に伴う津波警報が数回、発令されている。	○ 本市から「名寄市」までは、180km・3 時間、「旭川市」までは、250km・4 時間の搬送時間を要し、特に冬期間は吹雪等の視程障害が発生しているのが現状であり、「住民の命を守る」ためには、安全・安心、そして時間の短縮が喫緊の課題となっている。 ○ 製品の輸送における大消費地への迅速で安定した輸送路の確保が極めて必要であり、これにより、製品の高付加価値化や市場の拡大が図られ、地域産業の振興・活性化につながる。 ○ 防災対策及び非難道路として、国道 238 号の一刻も早い整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー２ 地域の目指すべき将来像

本市においては、平成 21 年度から平成 30 年度までの、「第 4 次稚内市総合計画、基本構想・基本計画」の中で、道路整備に関して下記の事項を記載予定となっています。

１．次世代に向けた住みよいまちを目指して

- (１) 都市間交通の基盤整備
- (２) 医療体制の充実
- (３) 誇れる稚内ブランドの確立

○ 本地域の幹線道路整備状況は、今まで整備が遅れていた国道 40 号については、規格の高い道路整備が着実に進捗しており、また、海岸侵食が著しい国道 238 号についても、安全で安心な道路整備が進められている。今後も更なる整備促進により、地域住民の生活向上や観光振興を含めた地域の活性化はもとより、3 次医療機関への搬送時間の短縮など、地域住民の生命を守る救急医療体制づくりや、本市の基幹産業である 1 次産業の農畜水産物の輸送時間の短縮等による高付加価値化等、地域産業の活性化が期待されている。

以上のことを踏まえ、規格の高い道路整備などの社会資本整備の要請を強化し、また、制限速度の緩和措置など、迅速で安全な高速交通ネットワークの構築を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
○ 地域活力の向上	○ 高速交通ネットワークの整備・促進	○ サハリン州との経済・文化交流の一層の促進 ○ 輸送時間短縮による高付加価値化や市場の拡大 ○ 迅速かつ安全で確実な高次医療アクセスの確保による地域医療体制の充実 ○ 広域観光ルートの形成 ● 現在、海外（台湾等）観光客の誘致を推進しているが、旭川・稚内間の移動時間がかかりすぎるとの指摘をエージェンツから受けており、高速交通ネットワークの整備・促進による移動時間の短縮が、海外観光客増加につながる	
○ 水害等の災害に強い国土づくり	○ 駐車場・駐車帯の整備	○ 本市の沿岸地域において、特に冬期間の災害時における地域住民の避難場所の確保 ○ シーニックバイウェイルートにおける「ビューポイント駐車場」としての活用	
○ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	○ 更喜苫内防雪事業	○ 冬期間の視程障害の解消等、安全で安心な規格の高い道路の構築 ○ 中央分離帯の設置による死傷事故率の減少 ○ 既存道路の活用による建設費用の抑制、及び全国画一ではない、地域の実情に合致した道路整備（2+1 道路） ○ 住民説明会及び個別面談の実施等、沿線地域住民の意見を反映させ、利用者にとって使い勝手の良い道路整備	